

サステナビリティ (持続可能性) は、企業の社会的責任 (CSR - corporate social responsibility) プログラムに於る数多くのトピックの一つから、世界的な必須事項になりました。温室効果ガスの燃焼と放出は世界のCO2レベルを上昇させており、それらを削減するという最近の取組は目標を下回っています。ペットボトルやその他の浮遊漂流物 (floating islands) が増え続け、世界中の航路を塞ぎ、徐々にマイクロプラスチックに分解され、私たちの水や空気中に常に存在するようになりました。このような劣化の多くは、製品の製造、物流、使用、そして廃棄に起因するものです。したがって、PLMは体系的な対応に不可欠なのです。主要なPLMソフトウェアおよびサービスプロバイダーは、産業界のクライアント向けに、必要となるメトリクス、メジャメント、そして実現技術を定義しています。クライアントは、人、地球、そして利益への影響に基づいてCSRの取組を評価し、「トリプルボトムライン (Triple Bottom Line)」に向かって進んでいます。本フォーラムでCIMdataは、全体的な課題・問題に焦点を当て、グローバルPLMエコノミーがどのように対応しているか、また産業界のクライアントがサステナビリティの目標をどの程度達成しているかにフォーカスします。

背景

地球は何十億年もかけて進化し、何度もの氷河期を乗り越え、人類が惑星に現れる以前に、隕石の衝突や地殻変動、火山噴火などの自然災害を乗り越えてきました。人類は、その数、採取能力、生産手段が進化するまでは、自然界にほとんど大きな影響を与えませんでした。産業革命は、多くの人の家庭がそうであったように、石炭、次に石油を動力源としてきました (これは今でも当てはまります)。かつて「自然の宝箱」と呼ばれた石油は、まさにパンドラの箱のような恩恵をもたらしました。燃料が炭化水素の主な用途ですが、医薬品、溶剤、肥料、農薬、プラスチックなどの原料でもあります。大量生産は、しばしばインダストリー2.0として引用され、内燃機関製品を手頃な価格で、そしてどこにでも現れるようになりました。プラスチックは100年余り (1907年) のものですが、これまでに製造されたプラスチックの約44%は2000年以降のものであり、約40%は使い捨てのために使われています。北太平洋、南大西洋、南太平洋、インド洋、南大西洋でプラスチックの大きな浮遊漂流物が流れ回っているのも不思議ではありません。それらはまた、流れ回って変化するにつれて海洋を汚すマイクロプラスチックに分解してゆきます。私たちの小川や河川で劣化したプラスチックは、私たちの製品に、そして最近では私たちが呼吸する空気中にまで行き渡るようになりました。1960年代に、企業は環境やサステナビリティなどの社会問題に対処するために企業の社会的責任 (CSR - corporate social responsibility) プログラムを実施し始めましたが、それらはさまざま異なる投資とメジャメントの優先事項のうちの一部にすぎませんでした。

今日のインダストリー4.0のビジョンは、産業革命に遡るインダストリー3.0の負の影響に対処するために、少なからず開発されたものでもあります。この劣化 (負の影響による) の多くは、製品の作成、ロジスティクス、使用、そして廃棄に起因しています。これはまさに、従来の製品ライフサイクル管理 (PLM) の考え方に合致するものです。したがって、PLMは体系的な対応に不可欠であります。これは本質的に、スマートコネクテッド製品の開発がインダストリー4.0の世界で競争するためにますます必要としているのと同

テクノロジー、手法、プロセス、そしてソリューションを活用できるシステムオブシステムズの問題であります。

主要なPLMソフトウェアおよびサービスは、産業界の顧客のために必要なメトリクス、メジャメントアプローチ、および実現テクノロジーを定義しています。CIMdataは、弊社の産業界のコンサルティングを行う顧客の要件や行動にその取組が反映されていると考えています。これらのクライアントの多くは、環境への影響を最小限に抑えるために、循環経済 (Circular Economy) のような考えを活用しています。企業は、必要なデータを取得し、その結果や潜在的な影響をメジャメントするための新しい方法を必要としています。よく知られたアプローチは、人、地球、利益への影響に基づいて評価する「トリプルボトムライン」です。世界経済フォーラム (WEF - World Economic Forum) とAccentureは最近、この世代間の課題に対する業界の対応に関する調査を完了しました。両者は、組織のDNAにサステナビリティを組み込むリーダーシップチームが、財務的価値とステークホルダー両方への影響をより適切に提供できることを見出しました。サステナビリティの実践が最も進んでいる企業は、収益性、環境および社会的な成果に於いて、同業他社を21%上回っています。

2022年度の開催日&開催地

北米：3月31日、Ann Arbor, MI (in-person event)

欧州：4月5&6日、バーチャル (13:00 - 16:30 CEST)

インド：4月5&6日、バーチャル (5:30 p.m. - 9:00 p.m.)

中国：4月12&13日、バーチャル (5:30 p.m. - 9:00 p.m.)

日本：4月14&15日 バーチャル (8:00 a.m. ~)

CIMdataの 2022 PLM Market & Industry Forum

この業界をリードするフォーラムで、CIMdataはサステナビリティの必須事項を整理し、これらの新しい要件に対応するために業界が直面する課題について話します。グローバルPLMエコノミーは、これらの要件にどのように対応してい

るのでしょうか？各社の産業界のクライアントはサステナビリティの目標をどの程度達成しているのでしょうか？この2つの質問に答えるために、CIMdataは2021年末から2022年初めにかけて各グループと実施した一次調査を活用する予定です。

CIMdata 2022 PLM Market & Industry Forumは、グローバルなPLMエコノミーに於るソフトウェアおよびサービスプロバイダ向けの最重要イベントであり、PLMコミュニティメンバーおよびグローバルPLM市場へのさらなるインサイトを得たい企業にとって重要なものとなります。2021年度のフォーラムでは、現行の経済情勢とトレンドに関するインサイトを提供するとともに、上記で強調した課題(challenges)と機会に焦点を当て、PLMエコノミーへの影響を検証します。CIMdataの2022年のグローバルPLM市

場分析結果の最初の公開リリースに加え、PLMドメイン、業界、地域全体の市場成長、そして主要なPLMソリューションプロバイダのパフォーマンス(収益と市場シェア別)に関する広範な分析と予測を含み、PLM市場の現行状況と将来のトレンドについてCIMdataの視点が詳細に提示されます。

CIMdata PLM Market & Industry Forumの参加者は、現行と新たに展開・発展するPLM市場、そのダイナミックな影響、継続的な市場の進展への期待についてしっかりと理解することができます。出席者はまた、今後1年間にPLMエコノミーもナビゲートに活用できる機会とアプローチについてさらにインサイトを得ることができます。このイベントでは、競合他社、協業者、潜在的なパートナーなど、CIMdataコミュニティに於る各社の専門家とのネットワーキングも可能になります。

Agenda - 2022年4月14日 (木) 午前8時~12時

8:00 a.m. - 8:05 a.m. はじめに (Welcome)

8:05 a.m. - 9:35 a.m.

PLMの状況 - 現行市場並びに最新トレンド (State of PLM - Today's Market and Leading Trends) - ピーター・ビレロ

このセッションでは、グローバルPLM業界の現行状況をレビューします。CIMdataはまた、新たなトレンド、このますます厳しい市場に於る関係者への潜在的な影響についての見解を示します。さらに、進化するPLMエコノミーとこれらのトレンドに対してCIMdataがどのように対処しているかについての最新情報を提供します。

9:35 a.m. - 9:45 a.m. 休憩 (Break)

9:45 a.m. - 11:15 a.m.

2021年度市場分析結果 (2021 Market Analysis Results) - スタン・ブルジビリンスキー

PLM業界の進展と方向性への包括的かつ正確な識見を持つ最善な情報源として長期に渡って認められているCIMdata 年次PLMグローバル市場の分析は、本フォーラムでまず最初の公開となり、さらなる詳細についてはCIMdata PLM MAR seriesにレポートされます。

11:15 a.m. - 11:25 a.m. 休憩 (Break)

11:25 a.m. - 11:55 a.m.

2021年度 日本市場分析結果 (2021 Market Analysis Results) - 江澤 智

前セッションに続き、このセッションでは例年通り2021年の日本市場に焦点を当てます。

11:55 a.m. - 12:00 p.m. 終わりに (Close)

Agenda - 2022年4月15日 (金) 午前8時~11時05分

8:00 a.m. - 8:05 a.m. はじめに (Welcome)

8:05 a.m. - 10:20 a.m.

サステナビリティとPLM (Sustainability & PLM)

サステナビリティ(持続可能性)は、「あったらいいな(nice to have)」から「競争上必要なもの」へと急速に変化しています。サステナビリティは、インダストリー4.0のビジョン、PLM戦略、そして構築された世界の多くやその中のスマートな接続体を定義し、構築し、管理するソリューションの中心的なものであります。このセッションでCIMdataは、サステナビリティの必要性を位置付け、産業界の企業がどのように対応しているか、そしてPLMエコノミーがその要件をサポートするためにどのように進展・進化しているかに関するCIMdataのリサーチを要約します。

8:05 a.m. - 8:40 a.m.

サステナビリティの必須事項 (The Sustainability Imperative) - スタン・ブルジビリンスキー

サステナビリティは、かつて多くの業界のCSRプログラムの多数あるトピックスの1項目でした。今では、様々なレベル

ルで戦略的な必須項目になりつつあります。このセッションでは、CIMdataは、サステナビリティが如何にしてここに到達したか、関係者にとって主要な重要指標は何か、そして産業界の組織がサステナビリティの目標を整理して達成するのに役立たせるにはどのような手法が開発されているかなど述べます。

8:40 a.m. - 9:15 a.m.

サステナビリティとPLM (Sustainability & PLM) - ピーター・ビレロ

PLM戦略とソリューションは、構築された世界の多くやその中のスマートな接続体を定義し、構築し、管理するものです。PLMは、この危機への体系的な対応での中心的な役割を果たします。最近のCIMdataのリサーチは、産業界の企業が各社のサステナビリティの目標を達成するためにどのような行動をとっているかを文書化するのに役立ちます。

9:15 a.m. - 9:50 a.m.

PLMエコノミーに於るサステナビリティの実現 (Enabling Sustainability in the PLM Economy) - スタン・ブルジビリンスキー

PLMはサステナビリティの課題 (challenges) への対応の中心的存在であるため、PLMエコノミーは、組織が課題に対応できるようにする上で重要な役割を果たす必要があります。最近のCIMdataのリサーチは、PLMエコノミーが産業界のクライアントをサポートするためにどのような行動をとっているかを文書化するのに役立ちます。

9:50 a.m. - 10:00 a.m. 休憩 (Break)

10:00 a.m. - 11:00 p.m.

重要トピックスのアップデート (Updates on Key Topics)

ソリューションプロバイダーとその顧客がインダストリー4.0の採用の成功にそれを全面的に支えるために理解する必要がある数多くの実現テクノロジーがあります。本セッションでは、それらのトピックスに関するCIMdataの初期のリサーチを基に、参加者の皆さんに重要なインサイトを提供します。

10:00 a.m. - 10:30 a.m.

マルチビューBOM (multi-view BOM) - ピーター・ビレロ

航空宇宙 & 防衛 (A&D - Aerospace & Defense) 企業は長年にわたり、社のBOMやその他の関連製品データの構造化要件を満たすために、当時の商用PLMソリューションでは、完全かつ効率的なアウトオブボックス機能を提供していなかったため、大幅にカスタマイズされたPLMソリューションを開発・展開してきました。このプレゼンテーションでは、CIMdataが推進するA&D PLMアクショングループ (ADPAG - A&D PLM Action Group) が、そのメンバーや主要なソリューションプロバイダーと協力して、マルチビューBOM (multi-view BOM) 要件に関するコンセンサスをどのように構築したかについて説明します。

10:30 a.m. - 11:00 a.m.

エンタープライズアプリケーションアーキテクチャ：価値あるエンタープライズフレームワーク (Enterprise Application Architecture: A Valuable Enterprise Framework) - ピーター・ビレロ

ビジネスの戦略的目標として、PLMは単一のITシステムではなく、幅広い機能を実現する一連のソリューションとして導入・実装し、関連する多くの企業アプリケーションと連携・動作する必要があります。結果として生じるエンタープライズアプリケーションを間違えると、コストがかかるだけでなく、PLMの影響はもちろん、他のアプリケーション領域も潜在的に最適化されない可能性があります。これを防止し、健全で包括的なエンタープライズアーキテクチャの開発・展開をサポートするために、CIMdataはエンタープライズアプリケーションアーキテクチャフレームワークを創り展開しました。このプレゼンテーションでは、フレームワークの定義、如何に現在のアプリケーション環境の評価し、PLMのロードマップの定義するか、そして実装のガイドについて、手短に最新情報を提供します。

11:00 a.m. - 11:05 a.m. まとめ・終わりに (Closing Comments)

以上、担当：

ピーター・ビレロ、CIMdata 社長 & CEO (Peter Bilello, President & CEO)

スタン・ブルジビリンスキー、CIMdata VP (Stan Przybylinski, Vice President)

江澤 智、CIMdata日本代表/メタリンク

CIMdata 2022 PLM Market & Industry Forum 開催&参加要項

ご出席に際して：

- ❖ 本フォーラムは**PLMソフトウェア&サービスプロバイダー向け**です。
- ❖ CIMdata 2022 PLM Market & Industry Forum - JAPANの参加費は、税込総額：69,800円（消費税：6,345円、本体価格：63,455円）です。
- ❖ 早期登録割引（“Early Bird Discount”）：**2022年4月6日（水）**までのご登録は、税込総額：59,800円（消費税：5,436円、本体価格：54,364円）。
- ❖ 同一組織内で複数のご参加は二人目以降、**一律**、税込総額：49,800円（消費税：4,527円、本体価格：45,273円）。但し、**同一申込&請求書**にて。
- ❖ CIMdata PLM市場調査にご協力いただいた皆さま：特別割引をします。詳細はお申込の際にお問い合わせください。
- ❖ 本フォーラムは、**バーチャルライブイベント**となります。
- ❖ 資料については、それぞれのセッションで提供します。本年度も、プレゼン資料、英語文/日本語文混合での製作を進めるべく準備をしております。一部の日本語は、後日になります。
- ❖ 参加費のお支払いはフォーラム前日までをお願いいたします。
- ❖ 当日、申込者をご出席出来ない場合は必ず代理の方をお願いいたします。
- ❖ **お申し込み**は、所定の申込書をご参照&ご利用願います。PDFファイルにダイレクト入力いただきメールの添付にて。

本年度も皆さまのフィードバック並びに私どもの経験を踏まえ、時代やビジネス環境に見合ったより充実した内容を提供&共有する所存です。皆様のご期待に添うべく計画を進めております。

本フォーラムの特徴は以下の通りです：

2022年は弊社が日本に於いてCIMdataとして1997年にPLM関連（当時はPDM）のフォーラムを開催して26年目となります。この間、フォーラムはユーザー向け、プロバイダー向けへとグローバルに先鞭をつけ発展し、ユーザー向けについては、プロバイダー各社の進展に伴い発展的解消、プロバイダー向けはグローバル共通プログラムの開発を進めて今日に至っています。

日本のほかに、米国、欧州、インド& 中国 と世界5地区向けに適切な時間帯で開催、さらなる進展となるグローバルベースで鋭意進めています。

過去、PLM業界として最も重要なメッセージを以下のように毎年、掲げて参りました：https://www.metalinc.com/Services/PLM_MIF_Top/

上記の各セッションは例年通り、ワンツーワンの日本語への逐次通訳は行いません。それにより得られる時間をより充実したプレゼンに振り向けると共に出席者皆さまのご理解を深めるために各セッション（ないし項目）毎に重要ポイントの簡便な解説（日本語）をインタラクティブに努力します。また、プレゼンテーション資料についてもオリジナル英文と可能な限り同等のレベルの翻訳並びに必要なに応じて注釈を入れてご提供しています。

以上のような、どうぞ、この大きな変化をご活用いただくと共にご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。ぜひ、現状をより正しく理解、課題を共有いただき、皆さまに於かれて有益なものになるものと信じております。

CIMdataのPLM Market&Industry Forumに於いて

- ✓ 2021年のPLMエコノミーに関するCIMdataの分析を業界に最初に公開する
- ✓ PLMエコノミーの現状について全体像を見る
- ✓ PLMエコノミーを推進しているのは何かを理解する
- ✓ PLMエコノミーのソリューションプロバイダーが互いにどのように機能しているかを知る

以下の重要なトピックの詳細：

- ✓ PLMエコノミーのレジリエンス
- ✓ 危機に直面した際の産業界のレジリエンス

CIMdataのPLM Market & Industry Forumとは？

- ✓ CIMdataの年次市場分析の最初の公開を行い、PLMエコノミーの現状について学ぶ機会を提供する。
- ✓ 来る年のPLMエコノミーのビジョンを設定をする。
- ✓ PLMエコノミーの同僚や仲間を一同に会す。

出席・参加すべき人々は？

- ✓ PLMソフトウェアやサービスプロバイダー
- ✓ PLMシステムインテグレーター
- ✓ 付加価値再販業者やチャネルパートナー
- ✓ 非PLMエンタープライズソリューションプロバイダー
- ✓ アナリストリレーションや競合分析の専門家
- ✓ 金融アナリスト
- ✓ チャネルパートナー
- ✓ 上述に於いて産業界のエンドユーザーでPLM&デジタルトランスフォーメーションに携わる人々

米国CIMdata 日本代表 **メタリンク株式会社**

<https://www.metalinc.com>

☎ 047-361-5850 ☎ 047-362-0472 〒271-0071 千葉県松戸市竹ヶ花西町310-31

お申し込みについて：

- ◆ 以下のPDF入力フォームに必要事項をご記入ください(直接、PDFフォーム入力、印刷不要)。CIMdataの登録には英吾表記が使われます、出席者リストは日英表記(例年通り、氏名、会社名のみ)となります。
- ◆ **PMIF_2022_Japan@MetaLinc.com**に添付ファイルにてお送りください。
- ◆ 参加確認メールと共に**請求書はPDF版**にてお送りさせていただきます。
- ◆ 参加受領書(参加票)については、CIMdataからのGoToWebinarにて、"招待"メール、PLM Market & Industry Forum Japan - Day 1 2022/04/14(木) / PLM Market & Industry Forum Japan - Day 2 2022/04/15(金)(以上、2セッションそれぞれ)に替えさせていただきます。受信後、お手元に大切に保管ください。また、アクセスURLも記載されます。

CIMdata 2022 PLM Market & Industry Forum - JAPAN 申込書

本フォーラムの開催&参加要項に同意し、CIMdata 2022 PLM Market & Industry Forum - JAPAN (2022年度 CIMdata PLM市場&業界フォーラム：バーチャルライブイベント)を申し込みます：

お名前 (Your Name)		姓 (Family Name)	名 (First Name)
	日本語表記		
	ローマ字表記		
電子メールアドレス (E-Mail)			
会社名 (Company)	日本語表記		
	英語表記		
部署名 (Group/Dep./Div.)	日本語表記		
	英語表記		
役職 (Job Title)	日本語表記		
	英語表記		
電話 (Phone)			
住所 (Address)	郵便番号		
	住所		
	ビルなど		
通信欄			

米国CIMdata 日本代表 メタリンク株式会社

<https://www.metalinc.com>

TEL 047-361-5850 FAX 047-362-0472

〒271-0071 千葉県松戸市竹ヶ花西町310-31